

麻しん・風しんに関する疫学情報

東京都健康安全研究センター

麻しん

麻しんは、麻しんウイルスを原因とする感染症です。

一般的には「はしか」とも呼ばれ、毎年春から初夏にかけて多くみられます。以前は小児期に多いといわれていましたが、最近では成人で発症が多く、集団感染事例も報告されています。

【感染経路・感染期間】

空気感染が主たる感染経路ですが、その他に、患者の咳やくしゃみに含まれるウイルスを吸い込むことによる「飛まつ感染」、及びウイルスが付着した手で口や鼻に触れることによる「接触感染」もあります。感染力はきわめて強く、感染した人の90%以上が発症します。周囲へ感染させる期間は、症状の出現する1日前（発しん出現の3～5日前）から発しん消失後4日くらいまでです。

【潜伏期間・症状】

10～12日間の潜伏期間の後、38 程度の発熱及びかぜ症状（咳、鼻水、目の充血等）が2～4日続き、その後39 以上の高熱とともに発しんが出現します。症状は7～10日で回復します。肺炎、脳炎といった重い合併症を発症することもあります。

【治療】

特別な治療法はなく、症状に応じた処置（対症療法）が行われます。

【予防】

唯一の予防方法はワクチン接種です。

○ 修飾麻しんとは

幼少時に1回のみワクチンを接種しているなど、麻しんに対する免疫が不十分な人が麻しんウイルスに感染した場合、軽症で典型的な症状が現れない麻しんを発症することがあります。このような麻しんを「修飾麻しん」と呼びます。

具体的には、高熱が出ない、発熱期間が短い、発しんが手足だけで全身には出ないなどです。潜伏期間が長くなり、感染力は典型的な麻しんに比べて弱いといわれていますが、周囲の人への感染源になるので注意が必要です。

風しん

風しんは、風しんウイルスを原因とする感染症です。

一般的には「三日はしか」とも呼ばれ、春から初夏にかけて多くみられます。以前は小児を中心に流行がみられていましたが、最近ではワクチン接種をしていない成人の発症が多く、集団感染事例も報告されています。また、妊娠初期の女性が感染すると、先天性風しん症候群（CRS）を起こすこともあります。

先天性風しん症候群（CRS）

風しんに免疫のない女性が妊娠初期に風しんに感染し、風しんウイルスが胎児に感染することにより、出生児に先天性の心疾患、難聴、白内障等の障害を起こす病気の総称

【感染経路・感染期間】

患者の咳やくしゃみに含まれるウイルスを吸い込むことによる「飛まつ感染」が主たる感染経路ですが、その他に、ウイルスが付着した手で口や鼻に触れることによる「接触感染」もあります。周囲へ感染させる期間は、発しんの出現する7日前から発しん出現後5日くらいまでです。感染力は、麻しんや水痘（水ぼうそう）ほどは強くありません。

【潜伏期間・症状】

通常 2～3 週間（平均 16～18 日）の潜伏期間の後、発熱、淡紅色の発しん、リンパ節腫脹が出現します。基本的には予後は良好ですが、関節炎や血小板減少性紫斑病、急性脳炎などの合併症を発症することもあります。ウイルスに感染しても明らかな症状がでないまま免疫ができてしまう（不顕性感染）人が 15～30%程度いると言われています。一度感染すると、大部分の人は終生免疫を獲得します。大人が罹患すると、その症状は小児に比べると比較的重いといわれています。

【治療】

特別な治療法はなく、症状に応じた処置（対症療法）が行われます。

【予防】

唯一の予防方法はワクチン接種です。妊婦に感染させないためには、本人だけではなくパートナーや周囲の人もワクチン接種することが重要です。

麻しん・風しん混合ワクチン（MR ワクチン）

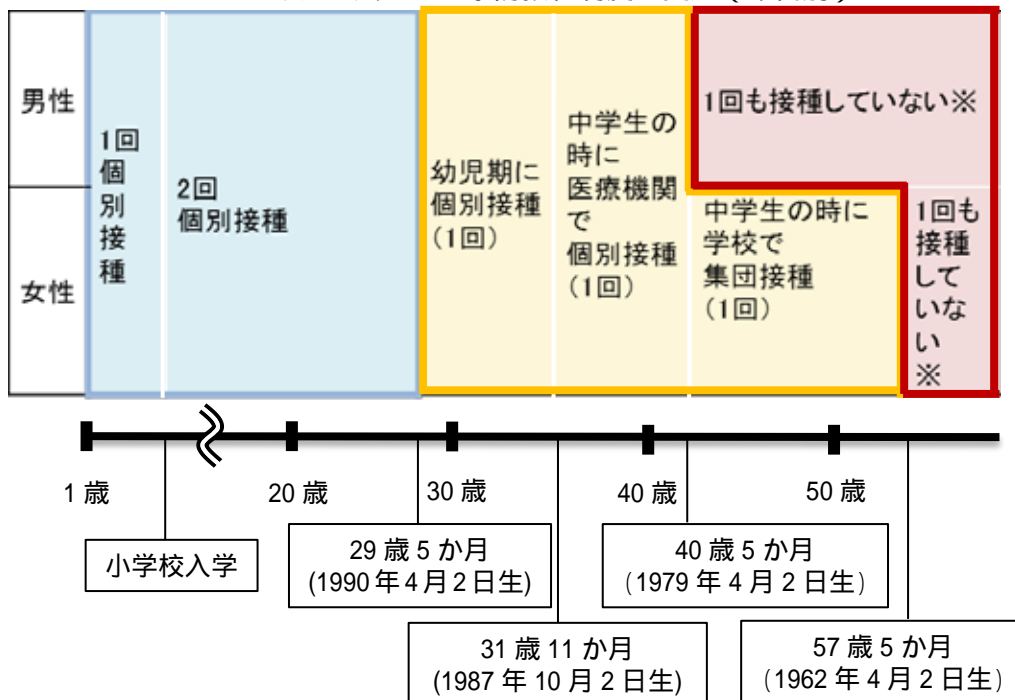
定期予防接種対象のワクチンです。2006 年 4 月から 2 回接種になりました（表 1）。決められた期間内に接種すれば公費となります（窓口は市区町村）。

表 1

| | |
|-------|---------------------------|
| 第 1 期 | 生後 12 か月以上 24 か月未満 |
| 第 2 期 | 小学校入学前の 1 年間（5 歳以上 7 歳未満） |

定期予防接種が 2 回接種となった 2006 年 4 月以前は接種回数や対象が異なっていたため（表 2）まだ一度も感染したことがない人の場合は、大人でも免疫が「不十分」、または「ない」人もいます。MR ワクチンは大人になってからでも医療機関で接種することができます。多くの場合は全額自己負担ですが、令和 4 年 3 月 31 日までの間に限り、風しんに係る公的接種を受ける機会がなかった昭和 37 年 4 月 2 日から昭和 54 年 4 月 1 日までの間に生まれた男性を定期予防接種対象者としています。

表 2 風しんの予防接種制度の変遷（年代別）



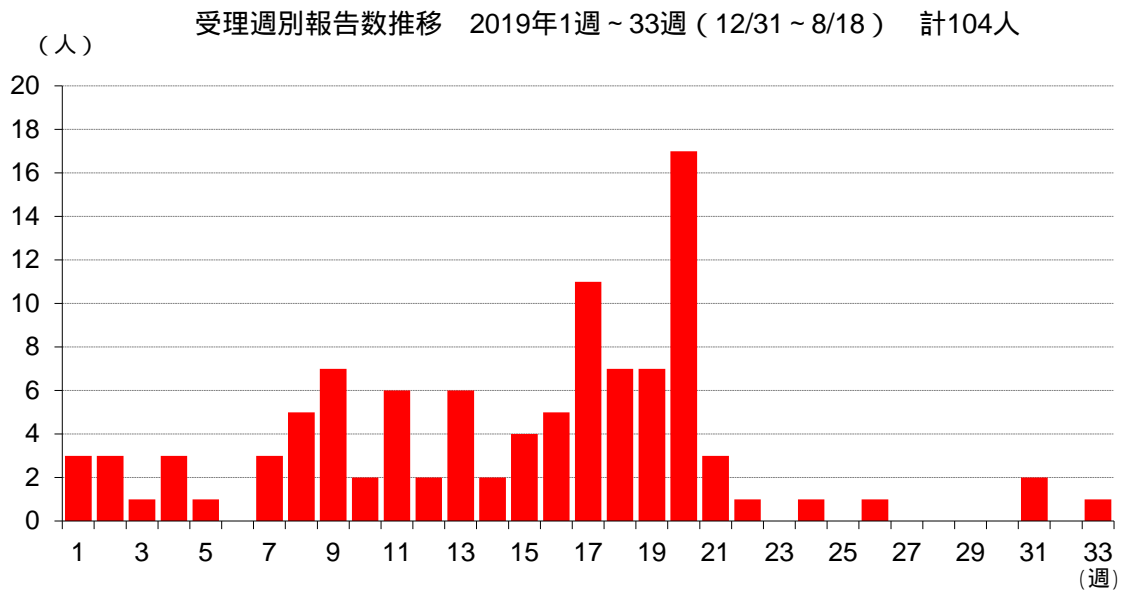
40 歳 5 か月以上の男性と 57 歳 5 か月以上の女性は風しんのワクチンの接種機会がなかった
2019 年 9 月 2 日時点

都内における麻しんの発生状況(2019年第1週から33週)

東京都健康安全研究センター

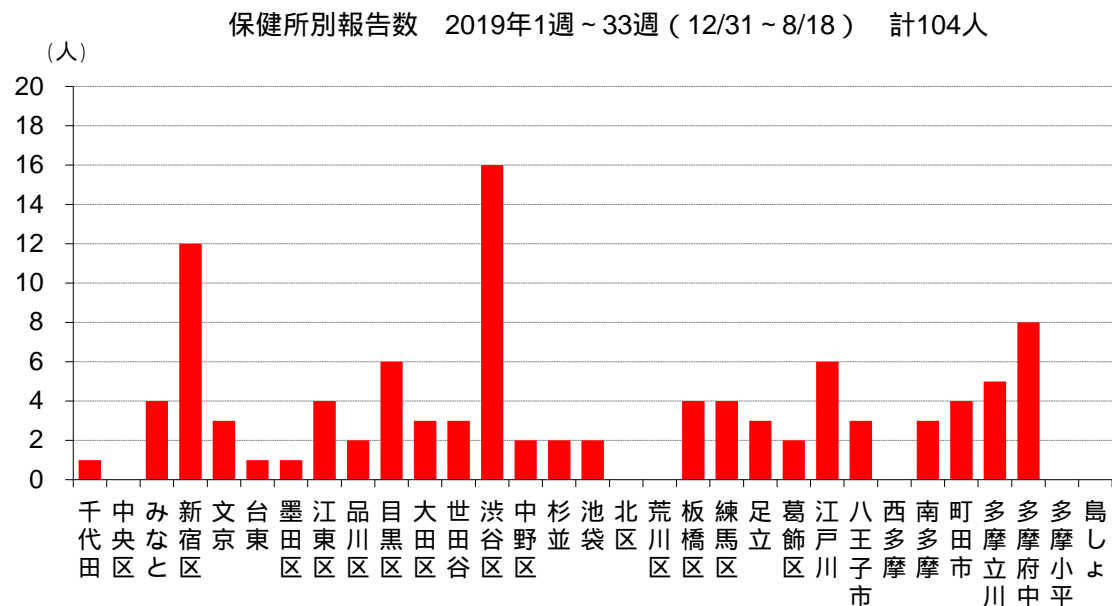
1. 患者報告数の推移

2019年の33週(8/18)までの累計報告数は104人であった。20週には1週間で17人が報告されたが、21週以降は毎週0~3人の報告で推移している。



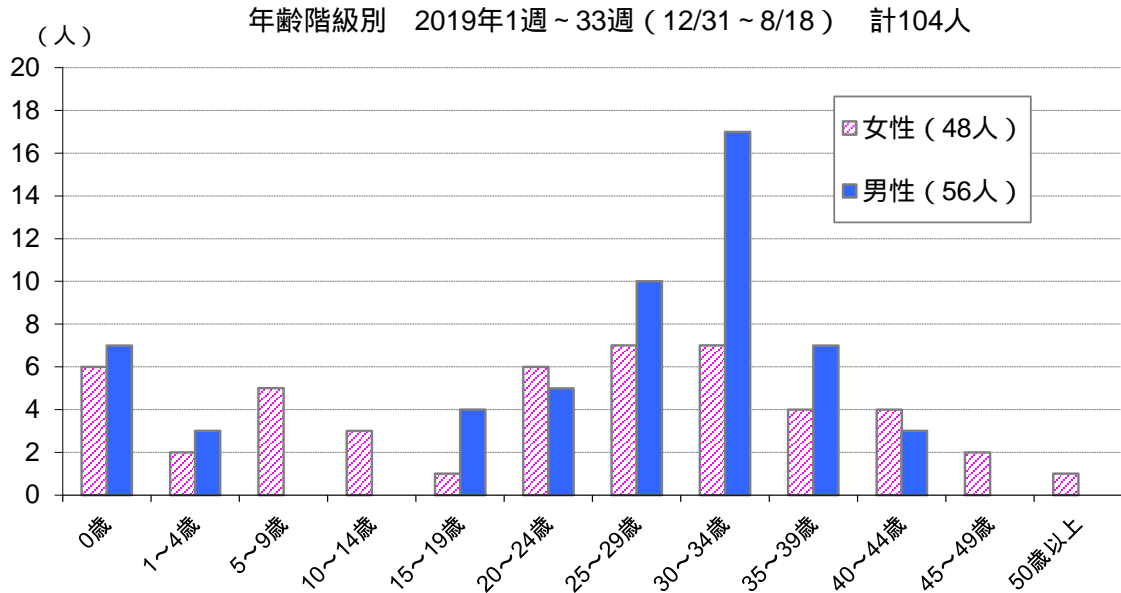
2. 保健所別報告数

31保健所中、25保健所から報告があった。報告数が多いのは渋谷区保健所(16人)、新宿区保健所(12人)であった。



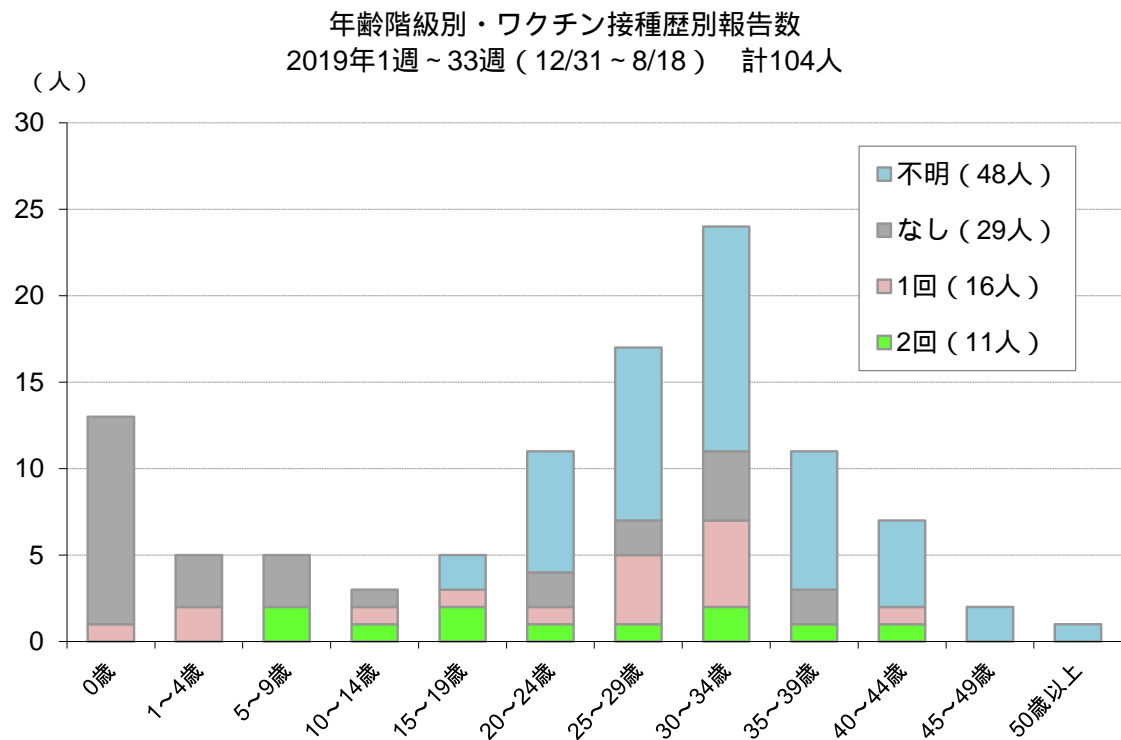
3. 年齢階級別・性別報告数

性別は男性 56 人、女性 48 人で男性の方が多かった。年齢階級別・性別でみると、報告数が多いのは 30～34 歳の男性（17 人）であった。



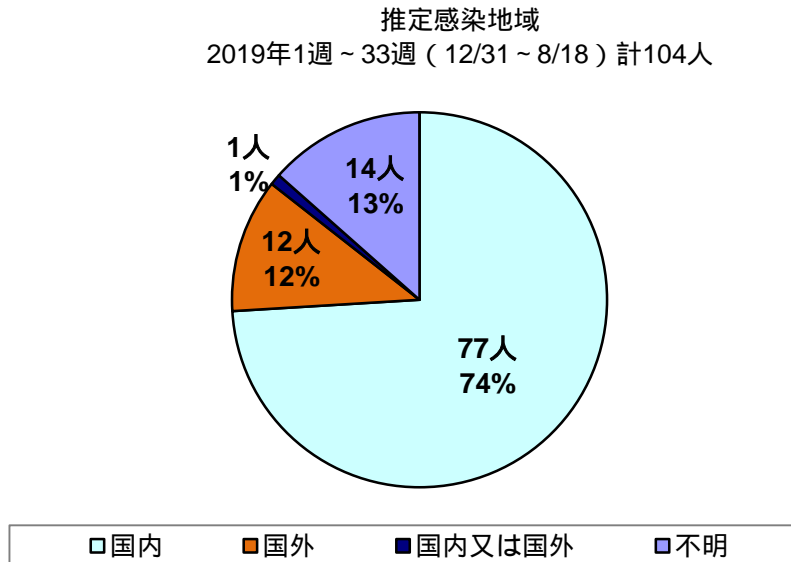
4. 年齢階級別・ワクチン接種歴別報告数

ワクチン接種歴別でみると、2回接種が 11 人、1回接種が 16 人、接種なしが 29 人、不明が 48 人であり、接種なしと不明を合わせた割合は約 74%であった。



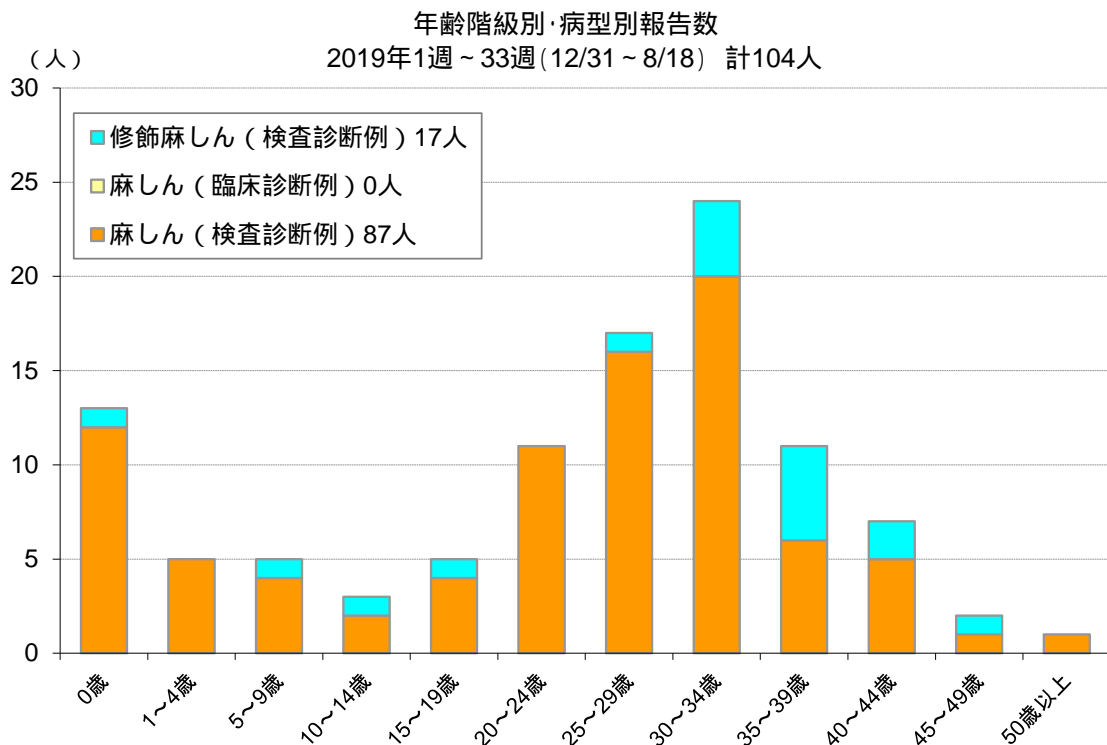
5. 推定感染地域

推定感染地域は「国内」が77人(74%)、「国外」が12人(12%)、「国内又は国外」が1人(1%)、「不明」が14人(13%)であった。昨年よりも推定感染地「国内」は22ポイント増加した。(推定感染地「国外」は18ポイント減少した。)



6. 年齢階級別・病型別報告数

病型別で見ると、麻しん(検査診断例)が87人、修飾麻しん(検査診断例)が17人と、麻しん(検査診断例)が多かった。麻しん(臨床診断例)の報告はなかった。



7. 集団発生報告数

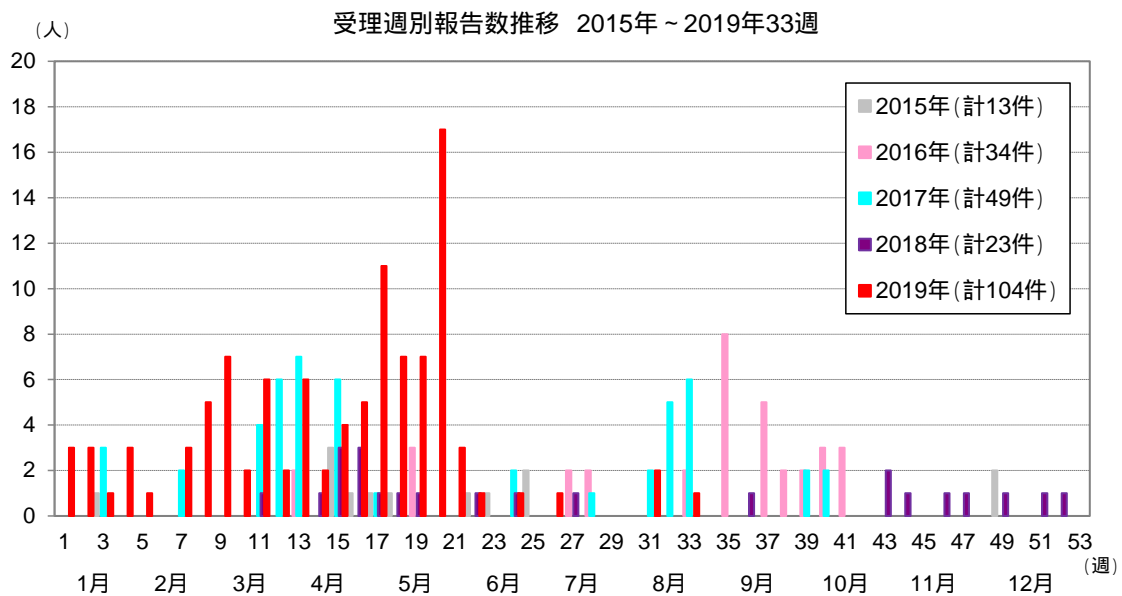
集団発生は企業 3 件、医療機関 3 件、保育園 1 件の報告であった。

| 受理週 | 場所 | 管轄保健所 | 初発発症日 | 患者報告数 |
|-----|--------|-------|-------|-------|
| 8 | 企業(配送) | 多摩府中 | 2月3日 | 2 |
| 9 | 医療機関 | 多摩府中 | 2月17日 | 3 |
| 11 | 企業(配送) | 世田谷 | 3月7日 | 2 |
| 16 | 医療機関 | 渋谷区 | 4月12日 | 6 |
| 17 | 保育園 | みなと | 4月20日 | 3 |
| | 企業(通信) | みなと | 4月26日 | 10 |
| 19 | 医療機関 | 新宿区 | 5月5日 | 2 |

< 参考 >

麻しん患者報告数の推移 (2015年～2019年33週)

過去5年間でみると、2019年は最も多い報告数となった。

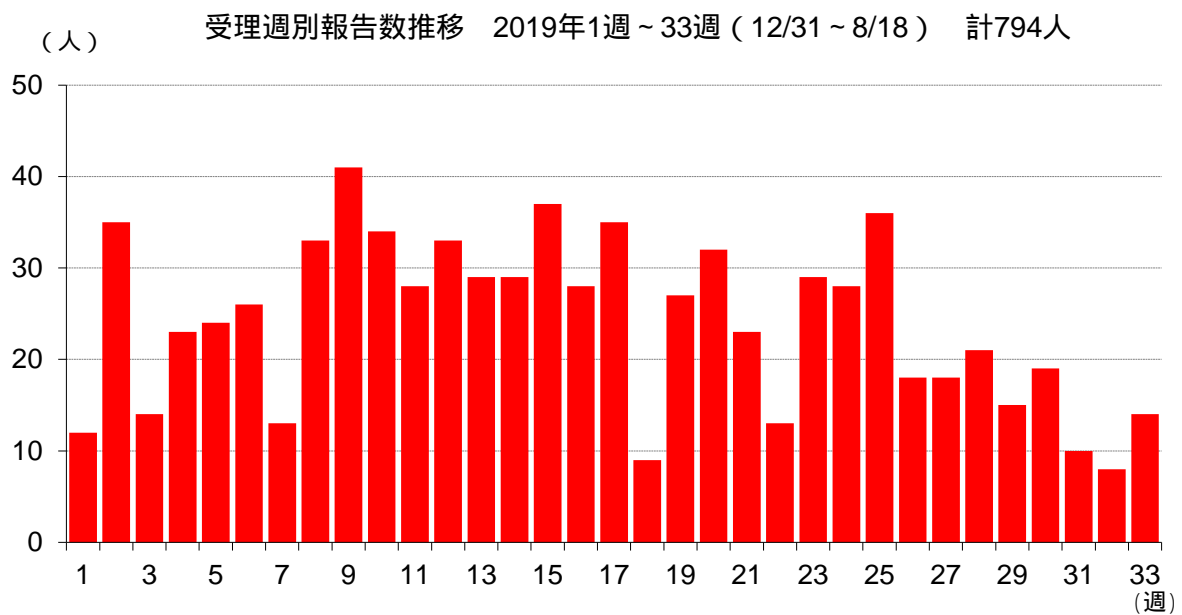


都内における風しんの発生状況（2019年第1週から33週）

東京都健康安全研究センター

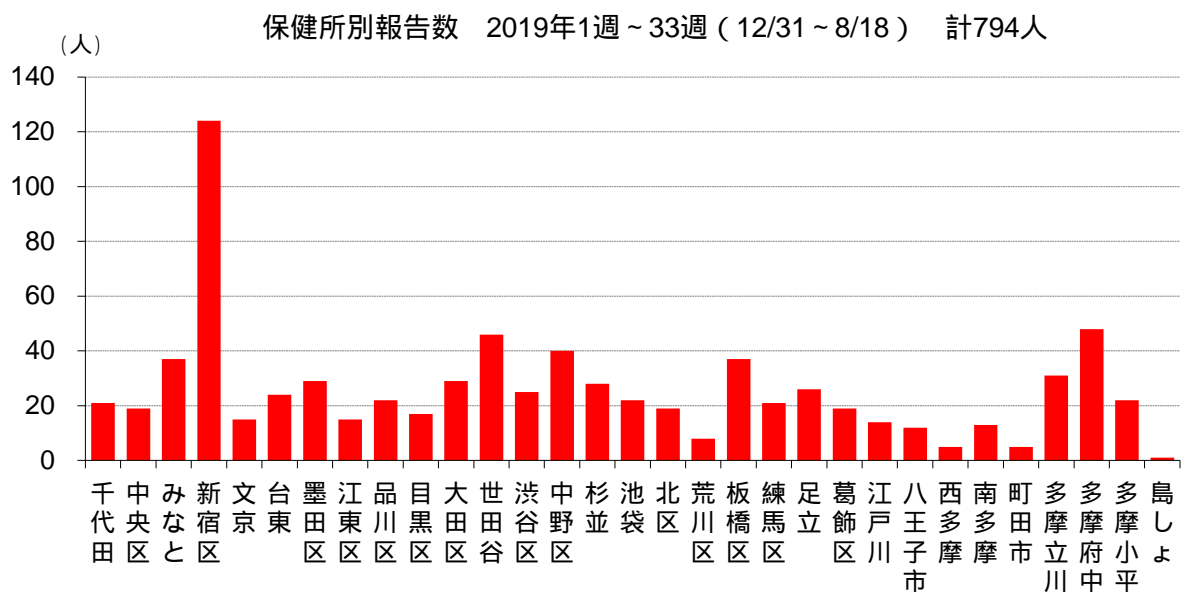
1. 患者報告数の推移

2019年の33週（8/18）までの累計報告数は794人であった。毎週10～40人前後の報告が継続している。



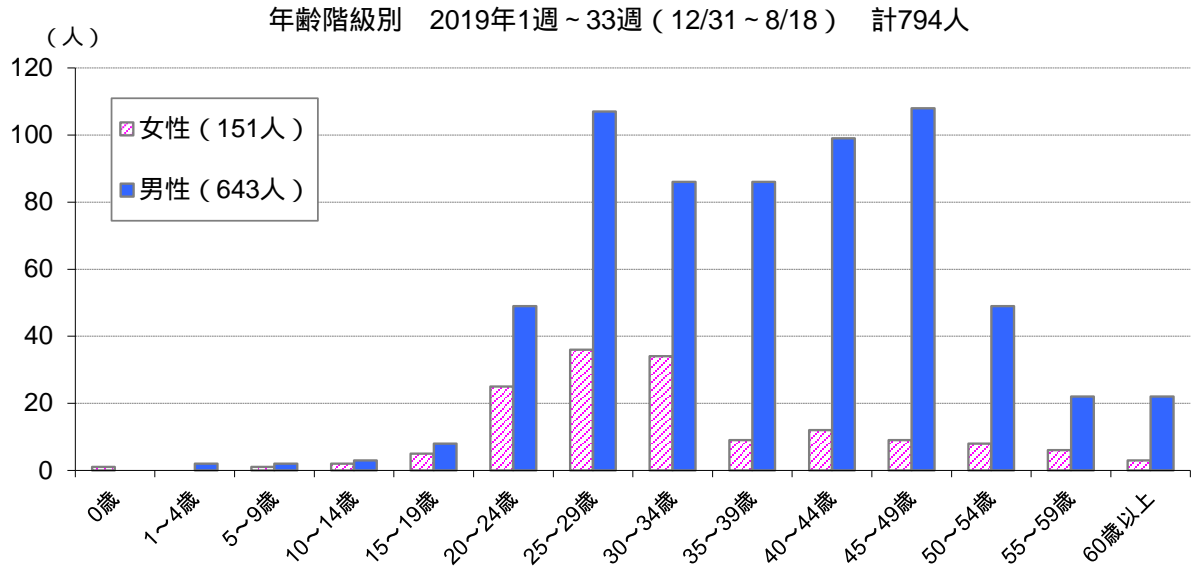
2. 保健所別報告数

全31保健所から報告があった。報告数が多いのは新宿区保健所（124人）であった。



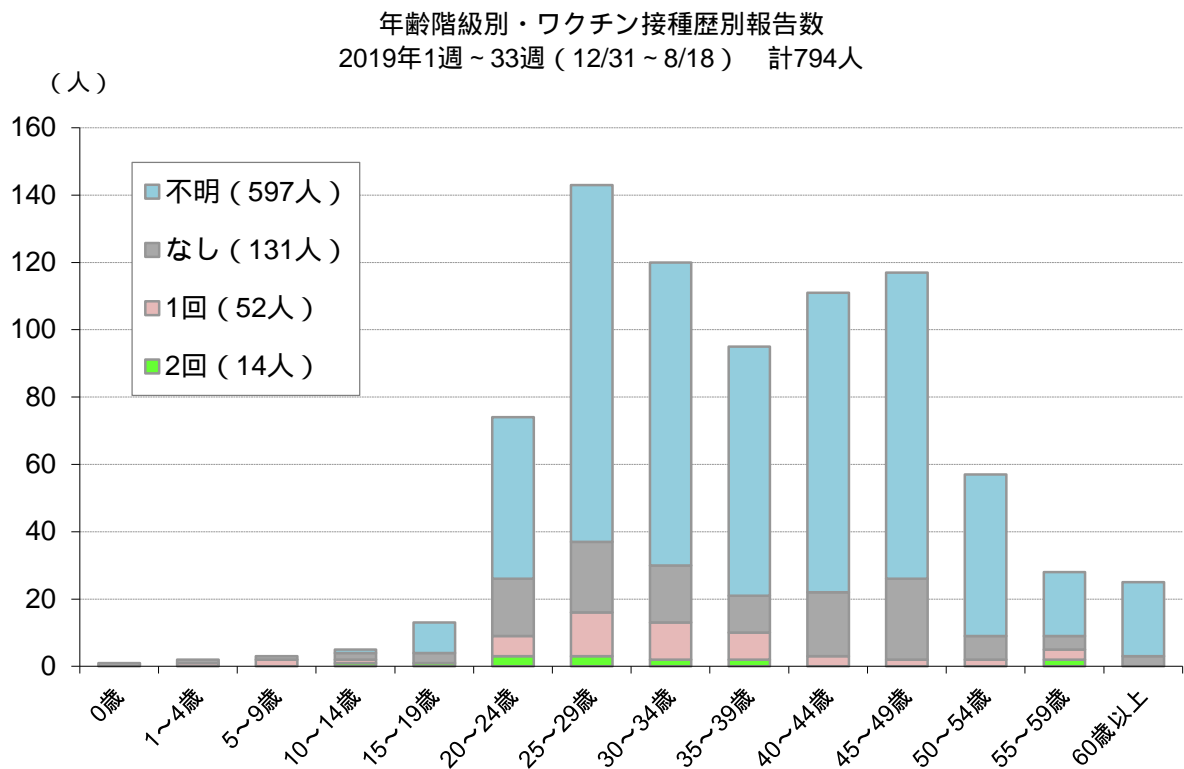
3. 年齢階級別・性別報告数

性別は男性 643 人、女性 151 人と男性の方が多かった。年齢階級別・性別でみると、報告数が多いのは 25～29 歳以降の男性であった。



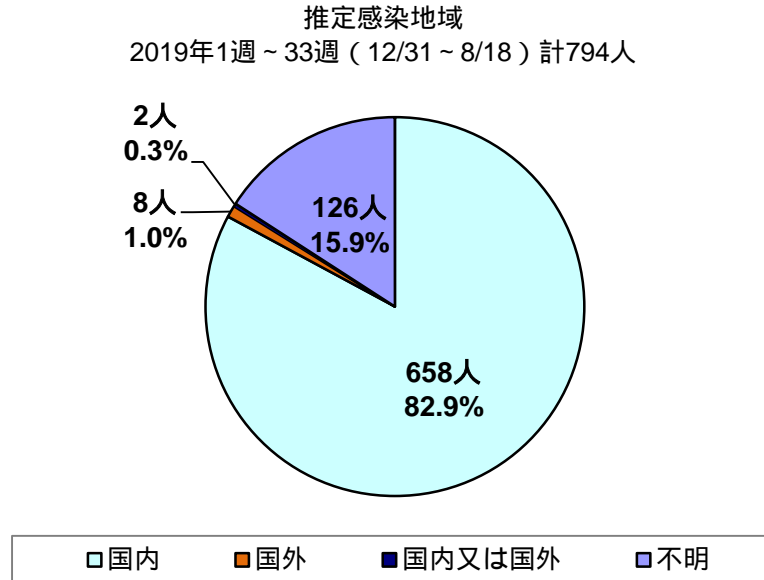
4. 年齢階級別・ワクチン接種歴別報告数

ワクチン接種歴別でみると、2回接種が 14 人、1回接種が 52 人、接種なしが 131 人、不明が 597 人であり、接種なしと不明を合わせた割合は約 92%であった。



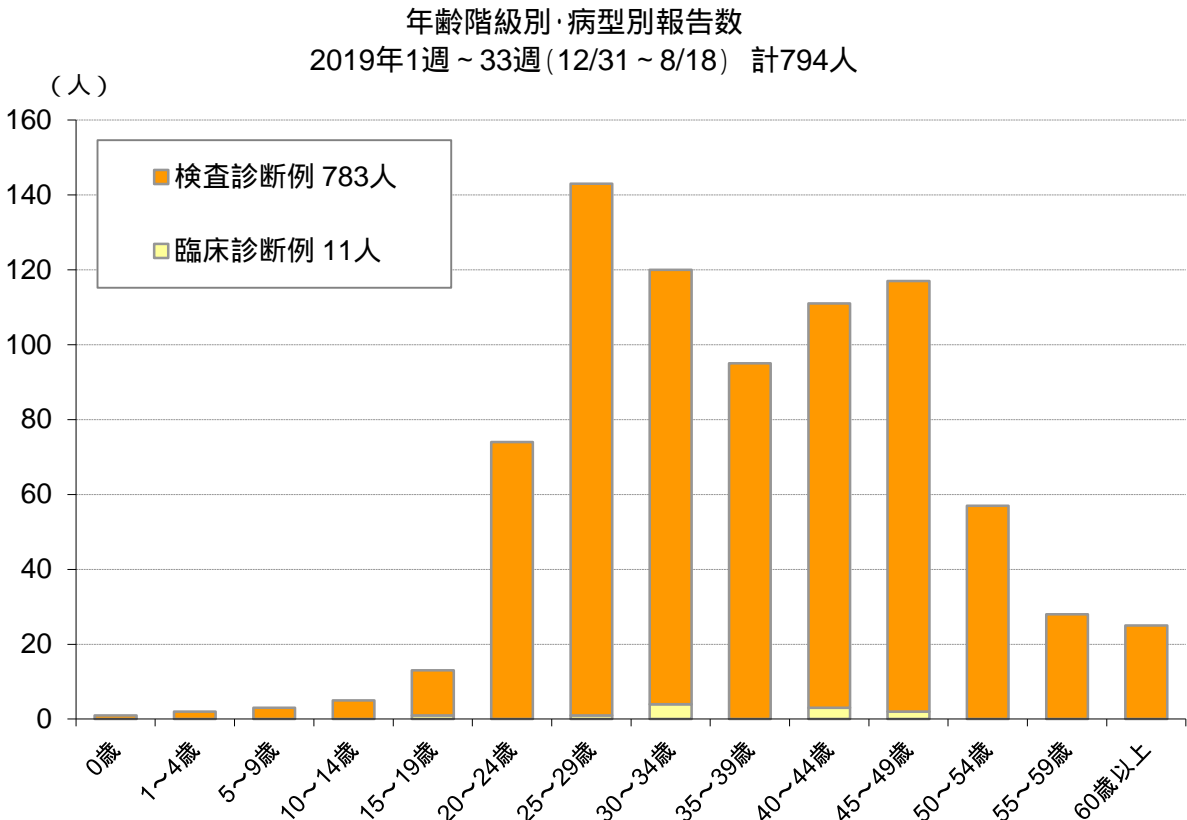
5. 推定感染地域

推定感染地域は「国内」が658人、「国外」が8人、「国内又は国外」が2人、「不明」が126人であった。



6. 年齢階級別・病型別報告数

病型別で見ると、検査診断例が783人、臨床診断例が11人と検査診断例の方が多かった。



7. 集団発生報告数

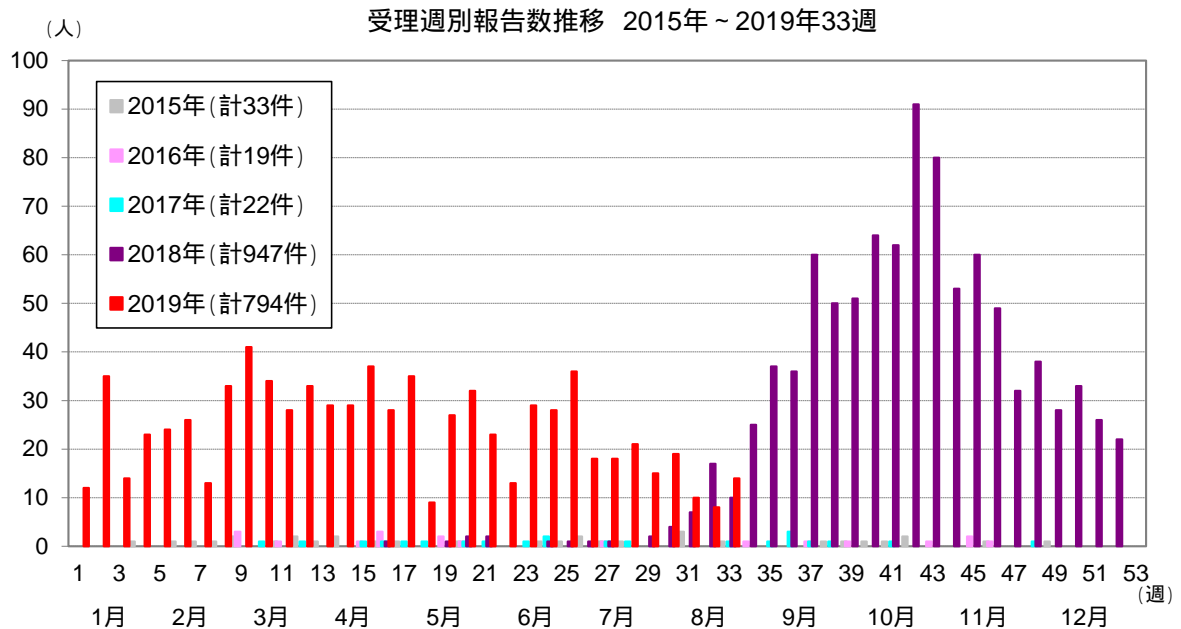
集団発生は 17 件の報告があり、企業 13 件、医療機関 1 件、警察 1 件、自衛隊 1 件、学校 1 件であった。

| 受理週 | 場所 | 管轄保健所 | 初発発症日 | 患者報告数 |
|-----|----------|-------|-------|-------|
| 9 | 自衛隊 | 練馬区 | 2月22日 | 7 |
| 11 | 中学校 | 練馬区 | 3月9日 | 4 |
| | 企業(自動車) | 世田谷 | 3月10日 | 2 |
| | 企業(通信) | 中央区 | 3月11日 | 3 |
| 14 | 企業(人材派遣) | 池袋 | 3月25日 | 3 |
| 15 | 企業(電子機器) | 多摩小平 | 3月30日 | 2 |
| 17 | 警察 | 千代田 | 4月26日 | 3 |
| 20 | 企業(電気) | 千代田 | 5月13日 | 47 |
| 21 | 企業(機械製造) | 中野区 | 5月22日 | 6 |
| 22 | 企業(介護) | 大田区 | 5月29日 | 2 |
| 25 | 企業(電気工事) | みなと | 6月3日 | 3 |
| | 企業(飲食) | 新宿区 | 6月18日 | 4 |
| 27 | 企業(広告) | 新宿区 | 6月25日 | 3 |
| | 企業(電気) | 多摩府中 | 7月3日 | 2 |
| 28 | 企業(タクシー) | 板橋区 | 7月8日 | 3 |
| 29 | 医療機関 | 新宿区 | 7月18日 | 2 |
| 31 | 企業(飲食) | 新宿区 | 7月24日 | 3 |

< 参考 >

1. 風しん患者報告数の推移 (2015年～2019年33週)

過去5年間でみると、2018年29週(7月中旬)頃から報告数が増え始め、ピークは2018年42週(10月中旬)で1週間に91人が報告された。2019年に入ってから報告が継続している。



2. 先天性風しん症候群 (CRS) 患者報告数

2019年のCRS患者報告は1人であった。

| 受理週 | 性別 | 月齢 | 病型 | 母親が風しんを 発症した妊娠週数 | 母親のワクチン歴 |
|-----|----|----|---------|---------------------|----------|
| 17 | 男 | 0 | CRS 典型例 | 不明 | 不明 |

3. CRS 患者報告数の推移 (2010年～2019年33週)

過去10年でCRS患者が東京都で報告されたのは、2013年(13人)、2014年(3人)、2019年(1人)であった。2019年は東京都以外に埼玉県、大阪府でのCRS患者報告があった。

| | 2010年 | 2011年 | 2012年 | 2013年 | 2014年 | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 ～33週 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------------|
| 東京都 | 0 | 0 | 0 | 13 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 全国 | 0 | 1 | 4 | 32 | 9 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 (人) |

東京都健康安全研究センターにおけるPCR検査 実施状況

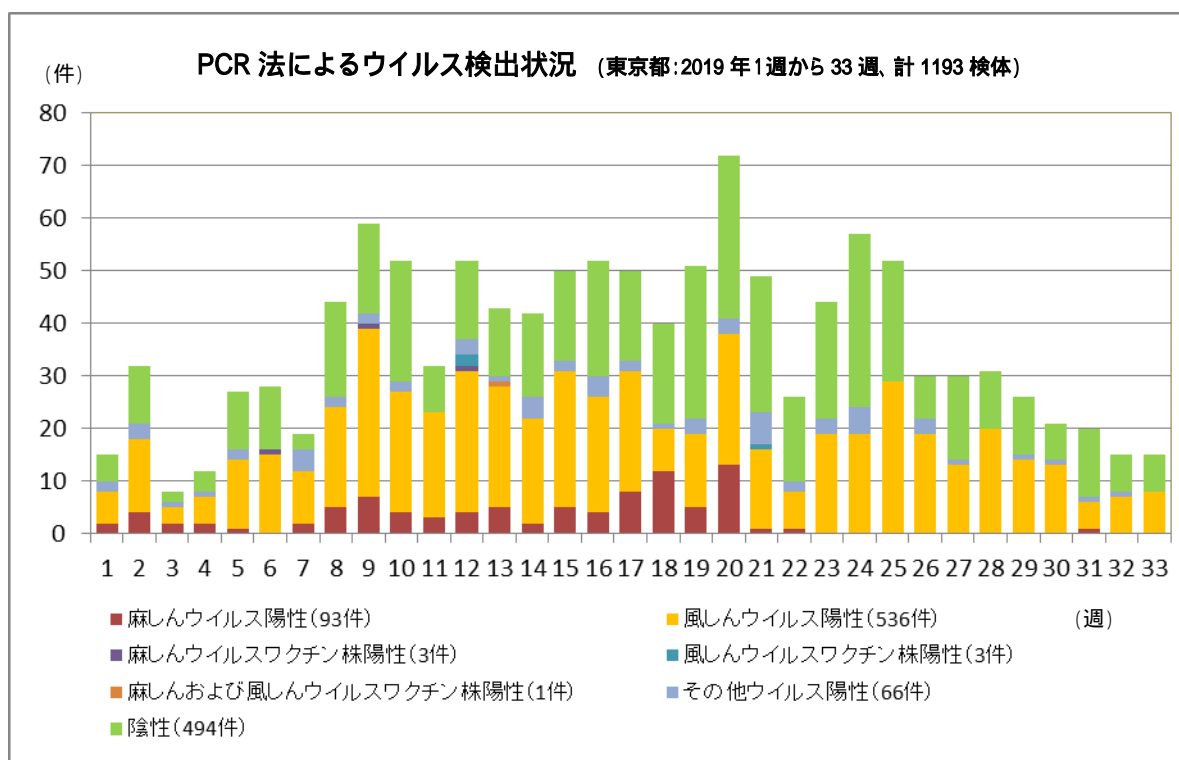
(2019年1週から33週)

東京都健康安全研究センター

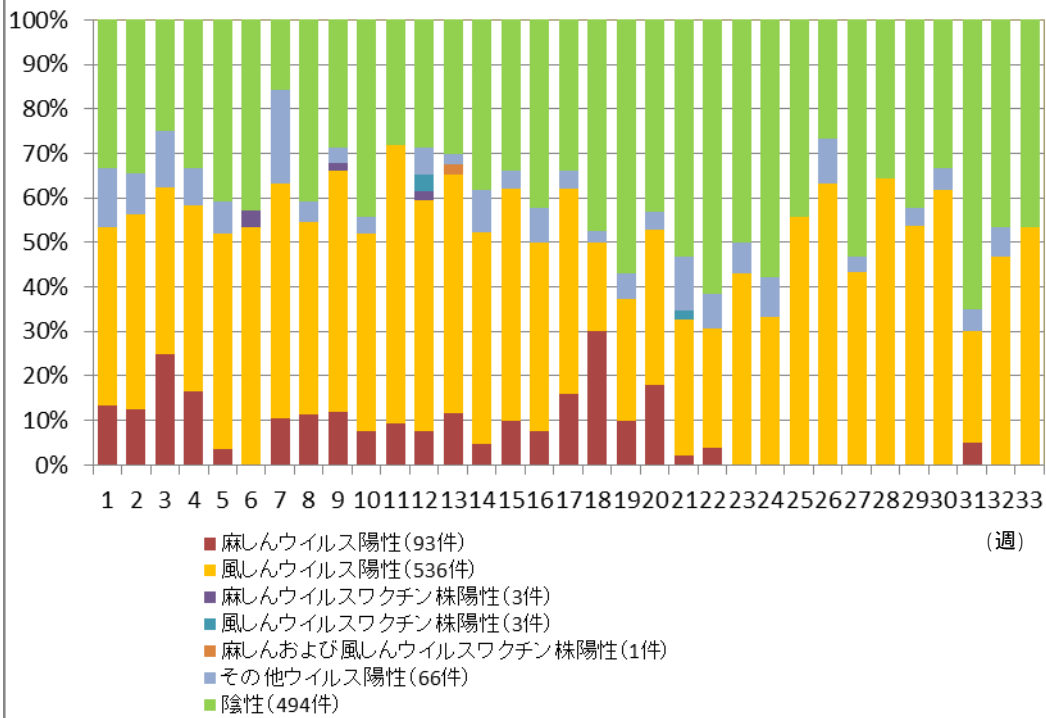
東京都では麻しんおよび風しんと診断された患者で協力が得られた場合、当センターに検体を搬入し、麻しんウイルスおよび風しんウイルスについてPCR検査を実施している。陰性だった場合は、パルボウイルスB19型のPCR検査を実施し、2歳以下では更にヒトヘルペスウイルスPCR検査も実施することとしている。

2019年1週から33週までで、麻しん・風しんと診断された患者1088人1193検体が当センターに搬入され、PCR検査が実施された。結果は、麻しんウイルス陽性が93検体、風しんウイルス陽性が536検体、麻しんおよび風しんウイルスのワクチン型が検出された検体が各4検体（うち1件は麻しんおよび風しんウイルスワクチン株をそれぞれ検出）、その他のウイルス陽性（パルボウイルスB19及びヒトヘルペスウイルス）が66検体、陰性が494検体だった。

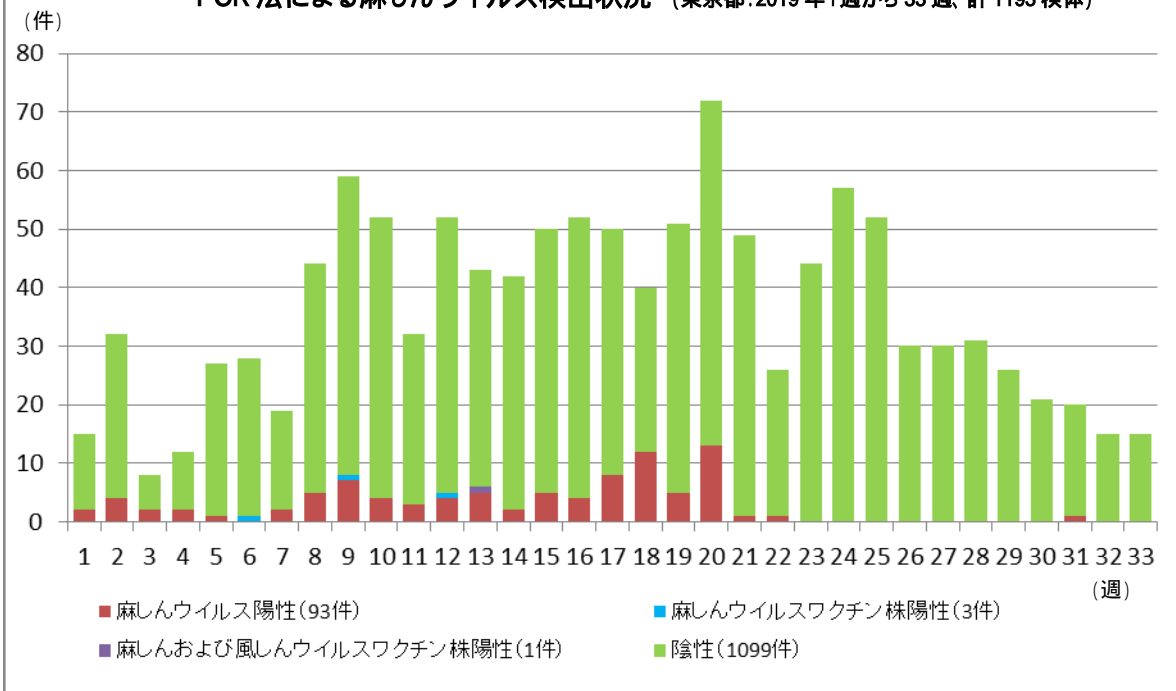
PCR検査とは、特殊な酵素を用いて検査対象とするウイルス固有の遺伝子配列を増幅することにより標的となる病原体を検出する方法である。検出感度も高く、検出する対象の塩基配列を変える事により様々な検査に対応することが出来るため、現在では多くのウイルスの検査に応用されている。

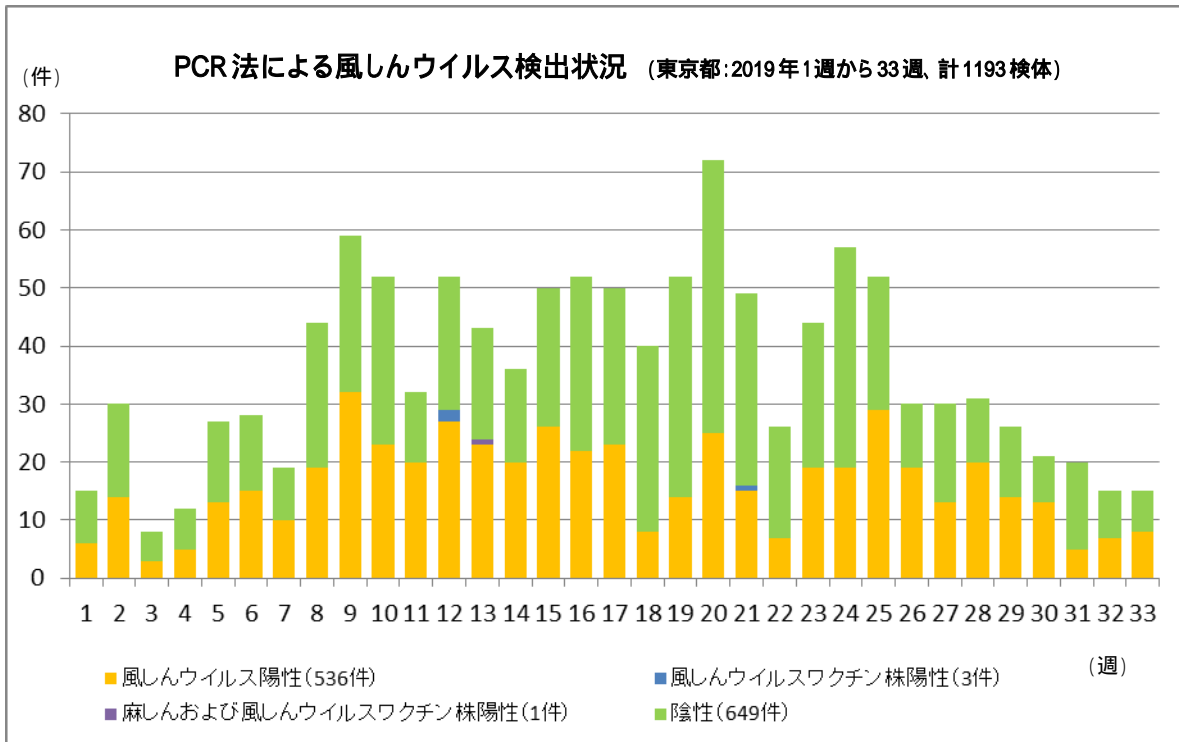


PCR 法によるウイルス検出状況 (東京都:2019 年1週から 33 週、計 1193 検体)



PCR 法による麻疹ウイルス検出状況 (東京都:2019 年1週から 33 週、計 1193 検体)





< 遺伝子型 >

麻しんウイルス (93 検体中遺伝子型が判明した数)
 D8 型 : 50 検体 B3 型 : 43 検体
 その他ワクチン型 (A 型) : 4 検体

風しんウイルス (536 検体中遺伝子型が判明した数)
 1E 型 : 495 検体 2B 型 : 8 検体
 その他ワクチン (1a 型) : 4 検体

その他のウイルス (66 検体)
 ヒトヘルペスウイルス : 24 検体
 パルボウイルス B19 : 42 検体